

お花の筑波山へ

山行日 2022年4月23日(土)

参加者 L I崎、SLK田、S木ち、T内、I貝(記)、M山

行程 松戸市民劇場前(車)6:30=林道鬼ヶ作線男の川(駐車)8:40

同男の川8:50-男体山10:45-御幸ヶ原11:00/11:10

-女体山11:30/11:40-おたつ石コースB6地点12:00(地図に無い林道を歩く)

-筑波高原キャンプ場13:25/13:30-男の川13:55

朝6時30分松戸市民劇場前を出発、国道6号線を車で竜ヶ崎駅へ行き岩崎さんと待ち合わせ、筑波山へ向かって走り、男の川登山口に着き支度をして8時50分登山開始、とても天気で気持ち良い。

何度目の登山だろうか?リーダーの後へ続く。男の川沿い登っていくと足元には小さな白い花が咲いている。それも群生している、聞くとニリンソウだそう。

その中にカタクリの花も咲き終わったもの、まだきれいに咲いているものがあり、皆かわいい。

ツクバキンモンソウ、ナルコユリ、ハルトラノオ、アオイスミレ。エンレイソウはまだ花をつけていない。タチツボスミレ、キクサキイチゲ、ウグイスカグラ、アオキ、エイザンスミレ、ヒトリシズカ、クサボケ、ヤマブキ、ワチガイソウ、ヤマブキシソウ、フタバアオイ、ミヤマシキミ、フタバアオイ、ヤマツツジ、ホウチャクソウ、チゴユリ、トウゴクサバノオ等々まだまだたくさんのお花を見かけた。



男体山にて



カタクリ

突然男体山の山頂に。お宮にお参りをし、下の景色を見るがハッキリしない。

男体山を下り広場の店でさっそく“筑波山を彩る花”本を買う。

女体山へ登った後下りはかなたに霞ヶ浦を見、山桜の咲いている山並みを見ながら無事下山しました。



ニリンソウ



エイザンスミレ